



2026年6月25日

各位

会社名 株式会社 エプコ
 代表者名 代表取締役グループ CEO 岩崎 辰之
 (コード番号 2311 東証スタンダード市場)
 問合せ先 常務執行役員 CFO 平川 智久
 (TEL. 03-6853-9165)

2026年5月度 月次業績に関するお知らせ

当社は、2026年5月度の月次業績につきまして、下記のとおりお知らせいたします。
 なお、業績数値は速報値であるため、以後修正される場合があります。

記

■ 2026年5月度の月次業績（経常利益）

(単位：百万円)

	5月度			期初来累計		
	前期	今期	前年比	前期	今期	前年比
連結経常利益	78	5	6%	195	178	91%

(参考) セグメント別経常利益

成長事業	再エネサービス		61	-8	-	156	114	73%
	日本市場	TEPCO ホームテック	16	-12	-	54	36	67%
		ENE's	45	6	15%	152	80	53%
	海外市場	LESSO EPCO	-0	-3	-	-1	-2	-
	その他		-0	0	-	-48	0	-
ベース事業	メンテナンスサービス		16	36	221%	83	171	205%
	設計サービス		31	22	73%	138	120	87%

(注1) 本資料の数値については監査法人の監査を受けておりません。

(注2) 「その他」には、昨年まで業績が計上されていた MEDX および班皓艾博科新能源設計（深圳）有限公司（現：深圳聯塑艾博科工程設計有限公司）が含まれております。MEDX は 2025 年 3 月にて事業活動を終了し、班皓艾博科新能源設計（深圳）有限公司は持分売却により 2025 年 4 月度以降、当社の持分法適用関連会社から除外されております。

(注3) 連結経常利益数値には、セグメント別経常利益のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用及び営業外損益（持分法投資損益を除く）が含まれております。

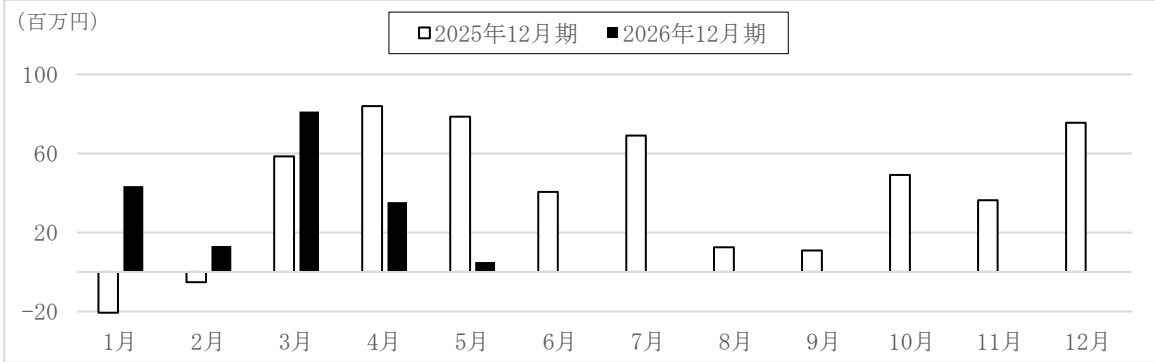
以上

■ (参考情報) 各事業の業績推移

【連結経常利益】

(単位：百万円)

	2026年12月期 (2026年1月1日～2026年12月31日)												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
経常利益	43	13	81	35	5								178
前年同月比	-	-	139%	42%	6%								91%

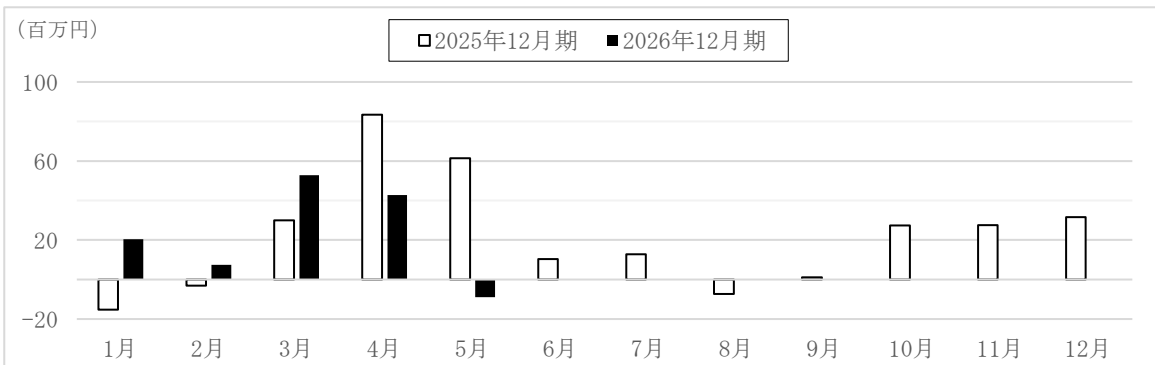


当月の連結経常利益は、5百万円（前年同月比6%）となりました。
 メンテナンスサービスが増益となった一方、再エネサービス及び設計サービスが減益となったため、全体としても前年同月比減益となりました。
 減益の主たる要因は、ENE'sにおいて前年の3月から5月に大手ハウスメーカー向け大型案件が集中したことの影響、およびTEPCOホームテックの減収に伴うものです。

【再エネサービス】

(単位：百万円)

	2026年12月期 (2026年1月1日～2026年12月31日)												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
経常利益	20	7	52	42	-8								114
前年同月比	-	-	176%	51%	-								73%

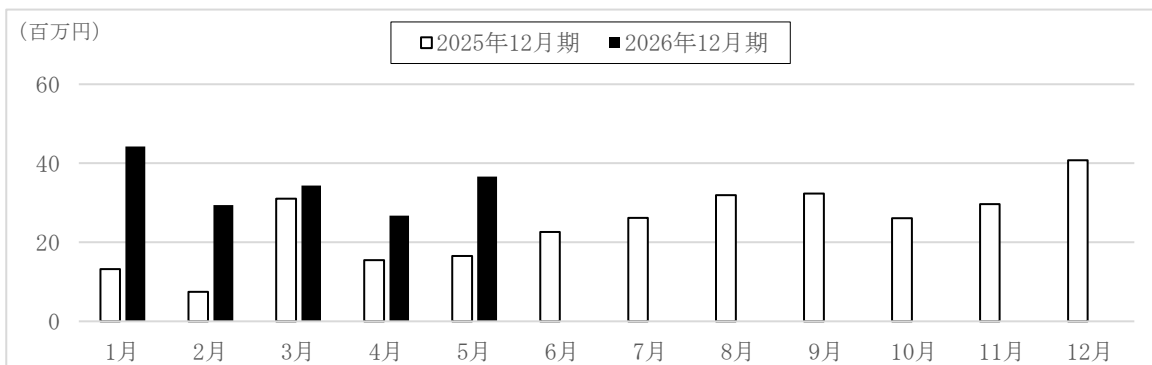


当月の再エネサービス経常利益は、-8百万円（前年同月61百万円）となりました。
 ENE'sは、前期における大手ハウスメーカー向け大型案件売上の反動減の影響を受けましたが、今期は毎月の案件数を平準化して受注を継続しており、引き続き売上は堅調に推移する見込みです。
 TEPCOホームテックは、新築向け及び既築向けの売上がともに減少したことから減益となり、再エネサービス全体として前年同月比で減益となりました。TEPCOホームテックに関する詳細については、P.4の記載内容をご参照下さい。

【メンテナンスサービス】

(単位：百万円)

	2026年12月期 (2026年1月1日～2026年12月31日)												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
経常利益	44	29	34	26	36								171
前年同月比	335%	394%	111%	173%	221%								205%

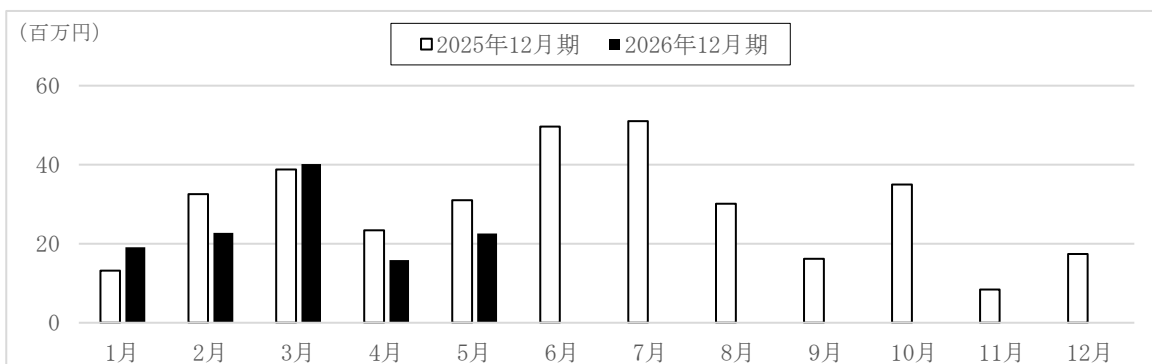


当月のメンテナンスサービス経常利益は、36百万円（前年同月比221%）となりました。増益の主たる要因は、住宅・エネルギー会社からの受託業務が増えたことに加え、主要取引先との価格改定が進んでいることによるものです。今後も既存・新規顧客からの受託を増やし、利益拡大を図ってまいります。

【設計サービス】

(単位：百万円)

	2026年12月期 (2026年1月1日～2026年12月31日)												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
経常利益	19	22	40	15	22								120
前年同月比	145%	70%	104%	68%	73%								87%



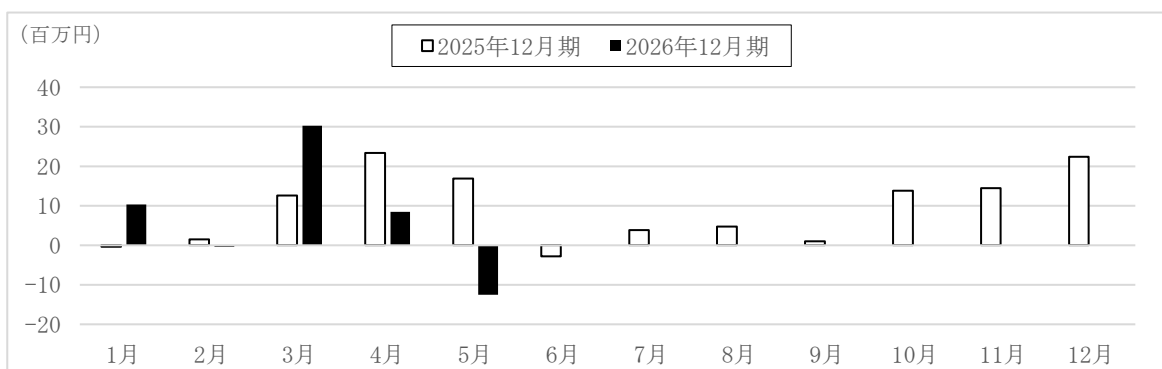
当月の設計サービス経常利益は、22百万円（前年同月比73%）となりました。減益の主たる要因は、円安の影響で中国拠点における費用が増加したことによるものです。一方、デジタル技術とAIの活用により業務フローの変革・労働生産性の向上が着実に進展しております。これを背景に、今後はさらなる利益率の改善に取り組んでまいります。

■ (参考情報) 主な関連会社の業績推移

【TEPCO ホームテック】(東京電力エナジーパートナー株式会社との合弁会社)

(持分法投資損益、単位：百万円)

	2026年12月期 (2026年1月1日～2026年12月31日)												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
持分法損益	10	-0	30	8	-12								36
前年同月比	-	-	241%	36%	-								67%



当月の TEPCO ホームテックに関する経常利益（持分法投資損益）は、-12 百万円（前年同月 16 百万円）となりました。

競争環境の変化を受けて、新築向け及び既築向けの売上がともに減少したことにより、当月の売上高は 556 百万円（前年同月比 67%）となり、前年同月比で減益となりました。

引き続き、東京電力グループと協働したマーケティング施策の強化などを通じた受注拡大による挽回を目指します。

以上